



1931年から続くタイムレスなストーリーを称える 「Reverso Stories (レベルソ ストーリーズ)」展

ジャガー・ルクルトはレベルソ誕生 90 周年を記念し、この素晴らしいタイムピースの歴史を辿る展覧会を大々的に開催します。「Reverso Stories (レベルソ ストーリーズ)」展は、この夏に上海でスタートし、今年後半のパリまで巡回します。

1931 年に製作されたレベルソは、長年愛され続ける稀有なデザインです。この腕時計は、ポロ競技の激しい動きや落馬に耐えうる腕時計を製作するという挑戦から誕生した伝説です。独創的なコンセプトとそれを完璧に実現したレベルソは、瞬く間に当初の目的を超えて、多種多様な職業のお洒落好きな人たちが身に着けるようになりました。アールデコ調のラインで独自の反転式ケースを備え、フォルムと機能が見事に一体化したレベルソは、世界で最も有名な腕時計の一つです。

「Reverso Stories (レベルソ ストーリーズ)」展では、このたぐい稀なデザインのクリエイティブで文化的な世界を 4 つのテーマで探り、訪れる人々を 90 年間の時代を超越した現代性の旅へ誘います。

4 章構成のタイムレスなストーリー

この旅は、「アイコンのストーリー」から始まります。ジャガー・ルクルト コレクションの中からめったに見られないアーカイブ資料や歴史的価値のある文書、最初の 1931 年製モデルから最新の「レベルソ トリビュート」モデルまで数々の代表的なレベルソ ウォッチを通して、レベルソの原点の物語を振り返ります。特別に制作された映像では、人々をジャガー・ルクルトのマニュファクチュールの裏側へ招待し、メティエラル工房の職人や時計職人が自らレベルソ製作の各工程を紹介します。

「スタイル&デザインのストーリー」では、レベルソのアールデコのルーツを探ります。アールデコのデザインの原則に従い、ケースが反転するというオリジナルのコンセプトからこの時計の独特な長方形の形状がどのように決まったのか知ることができます。厳選された男女を問わないタイムピースの数々で、レベルソがデザインアイコンとしてのステータスを得た、90 年に渡る様式の変化を辿ります。



展覧会の中心では、ジャガー・ルクルトから依頼を受けてアメリカ人アーティストのマイケル・マーフィーが特別に製作した、新しいアートインスタレーション『Spacetime（時空）』を観賞できます。この作品を通してアーティストは、空間の3つの物理的次元と時間の4番目の次元との関係性を探求します。マーフィーは、従来のアート制作技術にデジタル処理を組み合わせ、吊り下げられた3次元のモビールを2次元の画像のように見せるまったく新しい手法を発明したことで有名になりました。これらのアナモルフィックな作品は、見る方向によって混沌とした形の寄せ集めや巧みに構成されたフォルムに見えます。

『Spacetime（時空）』を観賞する人々にとって、その魅力は、一見ばらばらで複雑なものが一つになり、世界で最も有名なタイムピースの一つのビジョンにフォルムが変化することを観察しながら作品の周りを動き回るといふ主観的な体験にあります。この新しい作品の中で、マイケル・マーフィーは、計時や時間を作り出すことの美しさや精度を、新しくユニークで魅力的な方法で取り込みました。

「革新のストーリー」では、ジャガー・ルクルトの技術的発展を絶えず革新的に追い求める姿勢を、レベルソがどのように体現しているかを探ります。このストーリーでは、反転できるケースという革新的なアイデアから生まれ、1931年に特許を取得したルネ・アルフレッド・ショヴォーによる独創的なデザインに始まり、世界初のレクタングュラー型のミニッツリピーターやユニークなレトログラード・クロノグラフ、ジャイロトゥールビヨンなど、時計製造におけるハイコンプリケーションの導入、ダブルフェイスおよびデュアルタイムコンセプトの発明、新素材の採用を辿ります。そしてクライマックスは、今年発表された類まれなる4つのダイヤルを備えた「レベルソ・クアドリプティック」です。

展覧会のフィナーレを飾る「クラフツマンシップのストーリー」では、ジャガー・ルクルトのエナメル職人、ジェムセッター、エングレーバー、ギョーシェ装飾職人のスキルを称え、彼らが芸術的表現や個人的なメッセージのためのキャンバスとしてレベルソの全ての可能性をどのように解放しているかを明らかにします。また、アメリア・イアハートやダグラス・マッカーサー陸軍元帥が所有していた歴史的なタイムピースから現代のハイジュエリーや細密画を描いたモデルまで、これらのタイムピースによってレベルソそのものが持ち主のストーリーを今まで、そしてこれからどのように語り続けていくか、理解を深めることができます。

「Reverso Stories（レベルソ ストーリーズ）」展は、2021年7月9日から18日まで、藝倉美術館にて、午前10時から午後6時まで毎日開催されます。



レベルソについて

1931年、ジャガー・ルクルトは、20世紀のデザインのクラシックとなるタイムピース、レベルソを発表しました。ポロの激しい試合にも耐えられるように作られており、すっきりとしたアールデコ調のラインと独自のリバーシブルケースを備えたこの時計は、瞬時に識別することができます。誕生から90年間、レベルソはアイデンティティに妥協することなく自らの存在を常に変化させてきました。50種類以上のキャリバーが搭載され、何も描かれていないメタルの裏面はクリエイティブな表現のためのキャンバスとなり、エナメル、エングレービング、ジェムストーンなどで装飾が施されました。今年、90周年を迎えたレベルソは、変わることなく、その誕生にインスピレーションを与えた現代の精神を象徴し続けています。